

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年3月12日 (2015.3.12)

【公開番号】特開2014-158717(P2014-158717A)
 【公開日】平成26年9月4日 (2014.9.4)
 【年通号数】公開・登録公報2014-047
 【出願番号】特願2014-29040(P2014-29040)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月27日 (2015.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

報知部材と、

遊技球が打ち込まれる遊技領域に、該遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入賞口が配置されるとともに各種画像を表示する表示装置が配置される遊技盤と、

該遊技盤を着脱自在に取り付ける本体枠と、

該本体枠の一側に開閉自在に軸支されて前記遊技盤の遊技領域を視認可能な開口窓が形成される前面枠と、

前記始動入賞口に遊技球が入球したことに基づいて遊技の進行を制御する主制御基板と

、
 該主制御基板からの遊技に関するコマンドに基づいて前記表示装置の表示を制御する周辺制御基板と、

を備えるパチンコ機であって、

前記遊技盤は、少なくとも、

当該遊技盤の前面の予め定めた固定位置に、前記パチンコ機の対面に着座する遊技者の手又は腕の動きによる遊技者の動作を、前記開口窓を介して、検出可能な非接触式の動作検出センサ

を備え、

前記周辺制御基板は、少なくとも、

前記報知部材を駆動する報知部材駆動制御手段と、

前記表示装置で各種画像を表示して演出を実行する演出実行制御手段と、

前記動作検出センサからの検出信号に基づいて前記遊技者の動作の有無を判定する動作有無判定制御手段と、

遊技者待ちのデモンストレーション演出を実行するか否かを判定するデモ演出実行判定制御手段と、

前記動作有無判定制御手段による判定結果を無効化する無効化制御手段と、を備え、

当該周辺制御基板は、前記主制御基板からの前記遊技に関するコマンドを予め定めた期間が経過しても受信することができないときにはこれを契機として前記デモ演出実行判定制御手段により前記デモンストレーション演出を実行すると判定し、前記演出実行制御手

段により前記表示装置でデモンストレーション画像を表示して当該デモンストレーション演出を実行し、当該デモンストレーション演出の実行中における予め定めた動作制限期間内に前記動作有無判定制御手段により前記遊技者の動作があったと判定したときには、当該デモンストレーション演出の実行を中断することなく、前記報知部材駆動制御手段により前記報知部材を駆動してその旨を報知する一方、当該デモンストレーション演出の実行中における前記予め定めた動作制限期間外に前記動作有無判定制御手段により前記遊技者の動作があったと判定したときには、当該デモンストレーション演出の実行を中断することなく、その判定結果を前記無効化制御手段により無効化することによって前記報知部材駆動制御手段により前記報知部材を駆動して当該遊技者の動作があった旨を報知することを禁止することを特徴とするパチンコ機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

（解決手段１）

報知部材と、遊技球が打ち込まれる遊技領域に、該遊技領域を流下する遊技球が入球可能な始動入賞口が配置されるとともに各種画像を表示する表示装置が配置される遊技盤と、該遊技盤を着脱自在に取り付ける本体枠と、該本体枠の一側に開閉自在に軸支されて前記遊技盤の遊技領域を視認可能な開口窓が形成される前面枠と、前記始動入賞口に遊技球が入球したことに基づいて遊技の進行を制御する主制御基板と、該主制御基板からの遊技に関するコマンドに基づいて前記表示装置の表示を制御する周辺制御基板と、を備えるパチンコ機であって、前記遊技盤は、少なくとも、当該遊技盤の前面の予め定めた固定位置に、前記パチンコ機の対面に着座する遊技者の手又は腕の動きによる遊技者の動作を、前記開口窓を介して、検出可能な非接触式の動作検出センサを備え、前記周辺制御基板は、少なくとも、前記報知部材を駆動する報知部材駆動制御手段と、前記表示装置で各種画像を表示して演出を実行する演出実行制御手段と、前記動作検出センサからの検出信号に基づいて前記遊技者の動作の有無を判定する動作有無判定制御手段と、遊技者待ちのデモンストレーション演出を実行するか否かを判定するデモ演出実行判定制御手段と、前記動作有無判定制御手段による判定結果を無効化する無効化制御手段と、を備え、当該周辺制御基板は、前記主制御基板からの前記遊技に関するコマンドを予め定めた期間が経過しても受信することができないときにはこれを契機として前記デモ演出実行判定制御手段により前記デモンストレーション演出を実行すると判定し、前記演出実行制御手段により前記表示装置でデモンストレーション画像を表示して当該デモンストレーション演出を実行し、当該デモンストレーション演出の実行中における予め定めた動作制限期間内に前記動作有無判定制御手段により前記遊技者の動作があったと判定したときには、当該デモンストレーション演出の実行を中断することなく、前記報知部材駆動制御手段により前記報知部材を駆動してその旨を報知する一方、当該デモンストレーション演出の実行中における前記予め定めた動作制限期間外に前記動作有無判定制御手段により前記遊技者の動作があったと判定したときには、当該デモンストレーション演出の実行を中断することなく、その判定結果を前記無効化制御手段により無効化することによって前記報知部材駆動制御手段により前記報知部材を駆動して当該遊技者の動作があった旨を報知することを禁止することを特徴とするパチンコ機。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このパチンコ機では、報知部材、遊技盤、本体枠、前面枠、主制御基板、周辺制御基板を備えている。遊技盤は、遊技球が打ち込まれる遊技領域が形成されており、この遊技領域を流下する遊技球が入球することができる始動入賞口が配置されるとともに各種画像を表示する表示装置が配置されている。本体枠は、遊技盤を着脱自在に取り付けることができるようになっている。前面枠は、本体枠の一侧に開閉自在に軸支されており、遊技盤の遊技領域を視認することができる開口窓が形成されている。主制御基板は、始動入賞口に遊技球が入球したことに基づいて遊技の進行を制御している。周辺制御基板は、主制御基板からの遊技に関するコマンドに基づいて表示装置の表示を制御している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

周辺制御基板は、少なくとも、報知部材駆動制御手段、演出実行制御手段、動作有無判定制御手段、デモ演出実行判定制御手段、無効化制御手段を備えている。報知部材駆動制御手段は、報知部材を駆動するものである。演出実行制御手段は、表示装置で各種画像を表示して演出を実行するものである。動作有無判定制御手段は、動作検出センサからの検出信号に基づいてパチンコ機の対面に着座する遊技者の手又は腕の動きによる遊技者の動作の有無を判定するものである。デモ演出実行判定制御手段は、遊技者待ちのデモンストレーション演出を実行するか否かを判定するものである。無効化制御手段は、動作有無判定制御手段による判定結果を無効化するものである。周辺制御基板は、主制御基板からの遊技に関するコマンドを予め定めた期間が経過しても受信することができないときにはこれを契機としてデモ演出実行判定制御手段によりデモンストレーション演出を実行すると判定し、演出実行制御手段により表示装置でデモンストレーション画像を表示してデモンストレーション演出を実行し、このデモンストレーション演出の実行中における予め定めた動作制限期間内に動作有無判定制御手段により遊技者の動作があったと判定したときには、このデモンストレーション演出の実行を中断することなく、報知部材駆動制御手段により報知部材を駆動してその旨を報知している一方、このデモンストレーション演出の実行中における予め定めた動作制限期間外に動作有無判定制御手段により遊技者の動作があったと判定したときには、このデモンストレーション演出の実行を中断することなく、その判定結果を無効化制御手段により無効化することによって報知部材駆動制御手段により報知部材を駆動して遊技者の動作があった旨を報知することを禁止している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

このような遊技者待ちのデモンストレーション演出が実行されている際に、パチンコ機の対面に遊技者が着座して手又は腕を動かすと、その手や腕が、本体枠に形成された開口窓を介して、遊技盤に配置された非接触式の動作検出センサにより検出され、遊技者の手又は腕の動きによる遊技者の動作があった旨が報知部材から報知されるようになっている。このように、遊技者待ちのデモンストレーション演出が実行されている際に、パチンコ機の対面に遊技者が着座して手又は腕を動かすと、これにパチンコ機が応答して動作があった旨が報知部材から報知されるようになっているので、遊技者は、例えば、両手を勢い

よく振り下ろして一刀両断となる動作を試したり、手を振ったり等、さまざまな動作を試すことができる。これにより、遊技者に自由な発想を促すことで遊技者は自身の動作に興味を見出すことができるので、遊技者待ちのデモンストレーション演出が集客効果を高めることに寄与することができる。一方、ホールの店員等のメンテナンス者が動作検出センサに不具合が生じているか否かを確認する場合には、遊技者待ちのデモンストレーション演出が実行されている際に、パチンコ機の対面に遊技者が着座して手又は腕を動かす領域内に自身の手又は腕を動かすと、その手や腕が、上述したように、本体枠に形成された開口窓を介して、遊技盤に配置された非接触式の動作検出センサにより検出され、メンテナンス者の手又は腕の動きによる遊技者の動作があったと判定されたときにはその旨が報知部材から報知されるようになっている。このように、遊技者待ちのデモンストレーション演出が実行されている際に、パチンコ機の対面に遊技者が着座して手又は腕を動かす領域内にメンテナンス者が自身の手又は腕を動かすと、これにパチンコ機が応答して動作があった旨が報知部材から報知されるようになっているので、メンテナンス者は、報知部材からの報知の有無で動作検出センサに不具合が生じているか否かを極めて簡単に確認することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

このように、本発明のパチンコ機では、遊技者待ちのデモンストレーション演出の実行中における予め定めた動作制限期間内に動作有無判定制御手段により遊技者の動作があったと判定したときには、この遊技者待ちのデモンストレーション演出の実行を中断することなく、報知部材駆動制御手段により報知部材を駆動してその旨を報知しているため、遊技者待ちのデモンストレーション演出が実行されている際に、遊技者又はメンテナンス者の手や腕の動きに応答する態様で報知部材から報知されるようになっている。これにより、遊技者に自由な発想を促すことで遊技者は自身の動作に興味を見出すことができるので、遊技者待ちのデモンストレーション演出が集客効果を高めることに寄与することができるし、メンテナンス者は遊技者待ちのデモンストレーション演出を利用して動作検出センサに不具合が生じているか否かを極めて簡単に確認することができる。したがって、集客効果を高めつつ、動作検出センサの不具合を確認することができる。

また、遊技者待ちのデモンストレーション演出の実行中における予め定めた動作制限期間外に動作有無判定制御手段により遊技者の動作があったと判定したときには、この遊技者待ちのデモンストレーション演出の実行を中断することなく、その判定結果を無効化制御手段により無効化することによって報知部材駆動制御手段により報知部材を駆動して遊技者の動作があった旨を報知することを禁止しているため、遊技者待ちのデモンストレーション演出が実行されている際に、パチンコ機の対面に遊技者が着座して手又は腕を繰り返し動かすことで報知音がスピーカから流れ続ける状態を回避することができるし、報知音がスピーカから流れなくなることで遊技者に遊技者待ちのデモンストレーション演出における動作検出センサによる遊技が終了した旨を伝えて遊技の開始を促すこともできる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本実施形態では、例えば、図1のスピーカ36が報知部材に相当し、図4の遊技領域1

2 が遊技領域に相当し、図 4 の始動入賞口 4 5 及び電動始動入賞口 4 6 が始動入賞口に相当し、図 4 の演出装置 4 0 が表示装置に相当し、図 4 の遊技盤 4 が遊技盤に相当し、図 2 の本体枠 3 が本体枠に相当し、図 2 の開口窓 3 0 が開口窓に相当し、図 2 の前面枠 5 が前面枠 5 に相当し、図 1 6 の主制御基板 1 0 1 が主制御基板に相当し、図 1 6 のサブ統合基板 1 1 1 が周辺制御基板に相当し、図 1 のパチンコ機 1 がパチンコ機に相当し、図 4 の測距センサ 1 1 9 が動作検出センサに相当し、図 2 6 のリセット処理におけるステップ S 1 0 8 の 3 2 m s の定常処理で「スピーカ 3 6 を駆動して効果音等が流れるように音波装置 1 1 5 を制御するコマンドを波形制御基板 1 1 4 に出力する処理」が報知部材駆動制御手段に相当し、図 2 6 のリセット処理におけるステップ S 1 0 8 の 3 2 m s の定常処理で「液晶表示器 1 1 6 の表示領域 4 2 に表示する演出内容を規定する演出コマンドを作成して液晶制御基板 1 1 3 に出力する処理」が演出実行制御手段に相当し、図 2 6 のリセット処理におけるステップ S 1 0 8 の 3 2 m s の定常処理の一処理である動作有無判定処理が動作有無判定制御手段に相当し、図 2 6 のリセット処理におけるステップ S 1 0 8 の 3 2 m s の定常処理の一処理であるデモ演出実行判定処理がデモ演出実行判定制御手段に相当し、図 2 6 のリセット処理におけるステップ S 1 0 8 の 3 2 m s の定常処理の一処理である判定結果無効化処理が無効化制御手段に相当する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

（解決手段 2）

解決手段 1 に記載のパチンコ機であって、前記デモンストレーション演出には、前記遊技者の動作による危険行為の防止を促す内容が含まれることを特徴とするパチンコ機。こうすれば、例えば、パチンコ機の対面に着座する遊技者がその手にタバコを持ったまま自身の手や腕を動かす場合等によって、他の遊技者に迷惑をかけるおそれのある危険行為の防止を遊技者に促すことができる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

本発明の請求項 1においては、集客効果を高めつつ、動作検出センサの不具合を確認することができる。